



2022年5月9日

各 位

会 社 名 日本パレットプール株式会社  
代表者名 代表取締役社長 植松 満  
(コード番号:4690)東証スタンダード市場  
問合せ先 取締役経営推進本部長 山西 孝  
(TEL: 06-6373-3231)

## 新経営計画の策定に関するお知らせ

当社は、この度、新経営計画を策定いたしましたので、下記のとおりお知らせします。

### 記

#### 1. 策定の経緯

当社は、2022年5月10日に創立50周年という節目を迎えるにあたり、新たなブランドメッセージ「”NEW CHALLENGES WITH CLIENTS”～新たな挑戦 お客様とともに～」のもと、10年後のありたい姿として「長期ビジョン」を策定いたしました。

同時に、この長期ビジョンの実現に向けて、新中期経営計画「経営3カ年計画2024」をスタートいたします。

2024年問題など物流業界の様々な課題に果敢に挑戦し、持続可能な社会の実現に向けて諸施策を展開してまいります。

#### 2. 新経営計画について

##### A. 名称

「経営3カ年計画2024」

”NEW CHALLENGES WITH CLIENTS”～新たな挑戦 お客様とともに～

##### B. 計画期間

2022年4月1日～2025年3月31日

##### C. 内容（添付資料のとおり）

###### 【重点施策】

- I. コア事業の拡大と新規事業の展開
- II. 事業運営体制の強化
- III. ESG経営への取組み

以 上

長期ビジョン・経営3カ年計画2024

”NEW CHALLENGES WITH CLIENTS”

～新たな挑戦 お客様とともに～



日本パルップール株式会社

NEW CHALLENGES WITH CLIENTS

写真：NPPの森

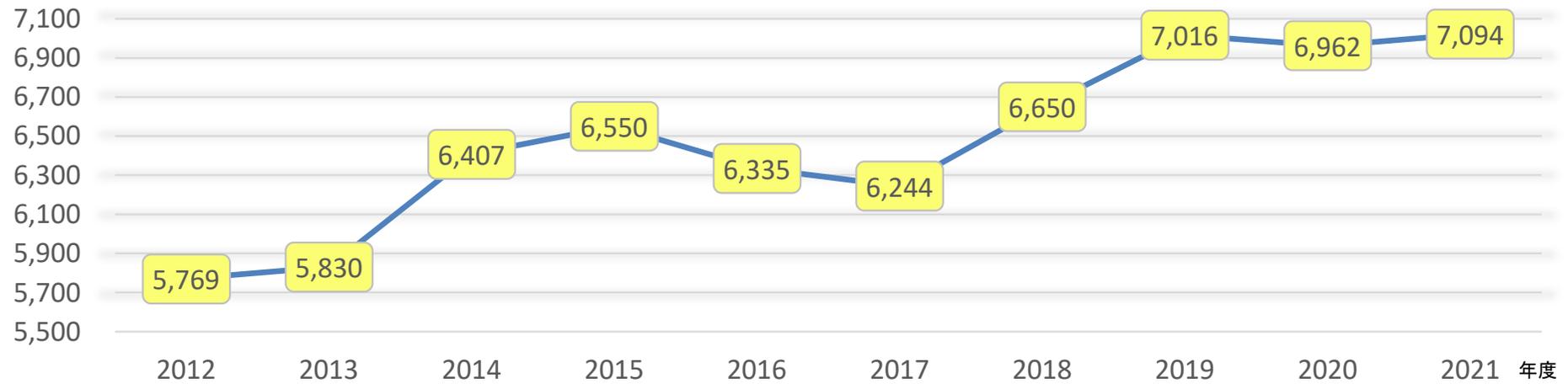
# 目次

1. 業績推移
2. 経営3カ年計画2021の振り返り
3. 現状認識と対応すべき方向性
4. 企業理念
5. 長期ビジョン
6. “経営3カ年計画2024”

# 1. 業績推移

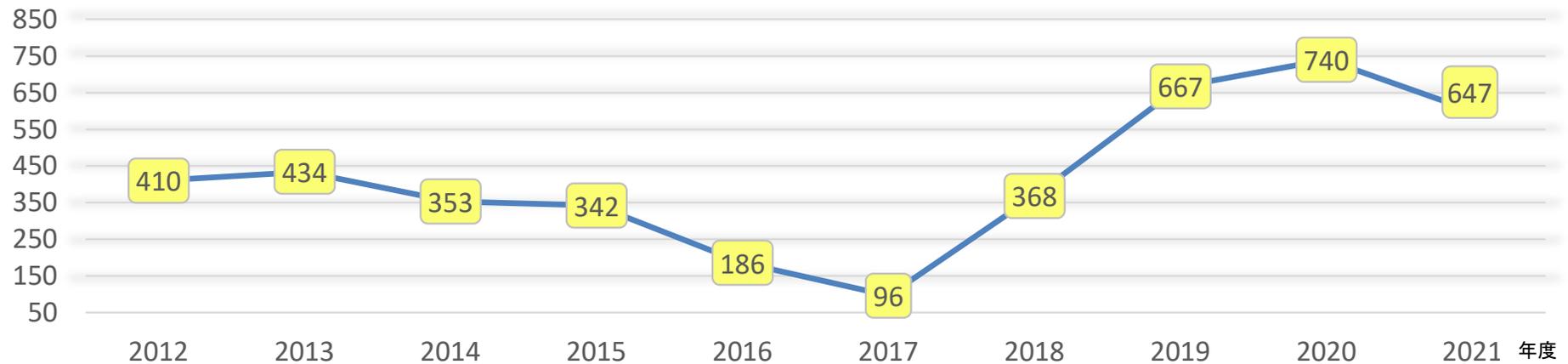
## 売上高

単位: 百万円



## 経常利益

単位: 百万円



## 2. 経営3カ年計画2021の振り返り(1)

単位：百万円

	2019年度			2020年度			2021年度		
	実績	計画	計画比	実績	計画	計画比	実績	計画	計画比
売上高	7,016	6,914	102	6,962	7,127	△165	7,094	7,013	81
営業利益	516	198	318	586	471	115	459	531	△72
経常利益	667	250	417	740	530	210	647	600	47

(A) 2019年度終了時点で2021年度計画の経常利益を達成したため、2020年度、2021年度の計画数値は、各事業年度の5月に公表した通期業績予想数値に変更した。

(B) 2019年度は売上高・営業利益・経常利益の全ての項目で計画を達成した。

2020年度はコロナの影響等により売上高は未達となったが、費用の抑制を図り、営業利益、経常利益とも計画を達成した。

2021年度はコロナの影響や原材料費、燃料費の高騰に加え、積極的な設備投資を行ったことから、営業利益は未達となったが、経常利益については営業外収入の増加もあり増益となった。

### I. 売上の拡大

- ▶ レンタル部門においては、既存顧客の需要増にお応えするとともに、新規顧客の開拓を積極的に推進
- ▶ 販売部門においては、フォールドデッキ、アシストスーツなどの新商品の販売やネステナー等の機器類の販売を積極的に展開

## 2. 経営3カ年計画2021の振り返り(2)

### Ⅱ. 費用構造の改善

- ▶ 未回収パレットの回収促進により資産の有効活用を推進
- ▶ デポの配置見直しや輸送手段の見直し等により、輸送コストを削減

### Ⅲ. 経営基盤の強化

- ▶ 高効率なネットワークを構築するため現行の200カ所のデポに加え、デポ2カ所(大阪府守口市、茨城県古河市)を新設
- ▶ パレット品質向上に向け、大型洗浄機をデポ2カ所(大阪府守口市、宮崎県延岡市)に新規導入
- ▶ デポ近隣の洗浄業務におけるパートナー企業との連携強化により、パレット品質向上を推進
- ▶ 中日本ブロックの営業基盤拡充のため、静岡支店を新設
- ▶ デジタル社会に対応するためDX推進本部を設置し、新商品開発【フクLOW(パレット位置情報管理システム)】や社内業務のIT化を推進



## 2. 経営3カ年計画2021の振り返り(3)

### IV. ガバナンスの強化とCSRの推進

#### 【ガバナンス】

- ▶ 東証の市場再編に伴うコーポレートガバナンスコードへの対応
- ▶ 内部統制監査機能の強化により、指摘事項の早期改善を促進

#### 【CSR】

- ▶ 環境に優しい輸送モードの利用を推進
- ▶ コンプライアンスアンケートの実施やeラーニングの活用により、コンプライアンス教育を強化
- ▶ 「CSRカード」(企業理念・行動憲章・接客六大用語・内部通報制度窓口連絡先・コンプライアンス自己チェックを記載)を作成し、社員の意識を醸成
- ▶ 環境保護に貢献するため北海道帯広市に「NPPの森」を購入し、育林事業を展開
- ▶ 社会貢献活動の一貫として、児童虐待防止「オレンジリボン運動」に参画
- ▶ リスク管理強化のため、定期的な各種訓練や防災グッズの配付を社員に実施

## 2. 経営3カ年計画2021の振り返り(4)

### A. 導入を進めたパレット洗浄機の概要



### B. 2022年1月に茨城県古河市に新設した「NPP古河デポ(シーエスジャパン(株)内)」



## 2. 経営3カ年計画2021の振り返り(5)

### C. 積載量を増やし、輸送効率を高めるフォールド・デッキ

※2020年6月、日本物流団体連合会より「物流環境啓蒙賞」を受賞！

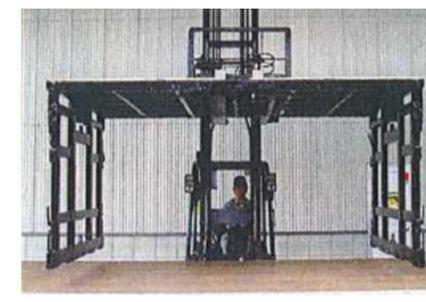
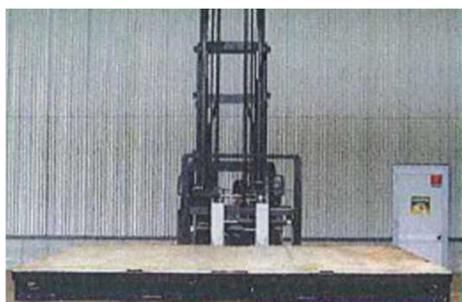


SDGsの17の目標に関連するロゴを掲載以下同様



【フォールド・デッキの組立工程】

【フォールド・デッキ】積載量2倍で輸送効率向上！〈日本パレットプール〉 - YouTube ←映像でも確認できます。



## 2. 経営3カ年計画2021の振り返り(6)

### D. 新商品のモーター式パワーアシストスーツ



持ち上げ時10~15kg分の  
腰をアシスト



持ち下げ時ブレーキで  
腰をアシスト



中腰作業時姿勢保持し  
腰をアシスト



歩行時股関節を  
アシスト

### E. 新商品の空気圧式アシストスーツ



## 2. 経営3カ年計画2021の振り返り(7)

### F. 2021年3月に購入した「NPPの森」(北海道帯広市、5.8ha)



### G. 2020年10月に児童虐待防止「オレンジリボン運動」に参画



子ども虐待防止オレンジリボン運動  
**子どもへの虐待をなくそう!**  
 ~今、あなたにできることがあります~



「オレンジリボン運動」は、子どもへの虐待をなくす輪を広げる運動です。  
 多くの皆様による参加により、子どもたちの命や心が守られ、救われています。  
 ※すべての虐待防止について賛同し、子ども虐待をなくすために、ぜひあなたの力を貸してください。

後援：内閣府 文部科学省 厚生労働省 一般社団法人日本子ども虐待防止学会 公益財団法人NPP子ども虐待相談センター 株式会社NPP



### 3. 現状認識と対応すべき方向性

現状認識	対応すべき方向性
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 物流効率化への要請の高まり</li> <li>◆ パレタイズ化への要求の強まり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ お客様の課題に対応したソリューションビジネスの展開</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ ドライバー不足(2024年問題)による輸送車両調達不安</li> <li>◆ 原材料費や燃料費の高騰によるコスト増リスク</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ デポの再配置による輸送効率の向上</li> <li>◆ 共同輸送の実施や更なるモーダルシフトによる高効率なネットワークの構築</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ カーボンニュートラルへの取組み進展などESG経営への要請の高まり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 環境経営を目指した各取組みの深耕</li> <li>◆ 東証スタンダード市場への移行にともなうコーポレートガバナンスの水準向上</li> <li>◆ コンプライアンスの強化</li> <li>◆ ダイバーシティへの取組み強化</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ DXの進展</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 新技術を活用した新商品・サービスの開発</li> <li>◆ RPAの導入などIT化の推進によるお客様サービスの向上と事務の効率化</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ コロナウイルス感染症の収束長期化によるニューノーマルへの対応加速</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ withコロナを意識した働き方の改革(テレワーク、時差出勤等)</li> </ul>

## 4. 企業理念

### 企業理念

人と地球にやさしい

Eco-Logistics企業をめざします

パレットプールシステムにより

物流に貢献する企業をめざします

お客様、社会から

信頼される企業をめざします

## 5. 長期ビジョン(1)

日本パレットプールは、「高品質な物流サービスの提供」、「物流の効率化」、「環境経営」に取り組み、社会やお客様に貢献できる企業を目指します。

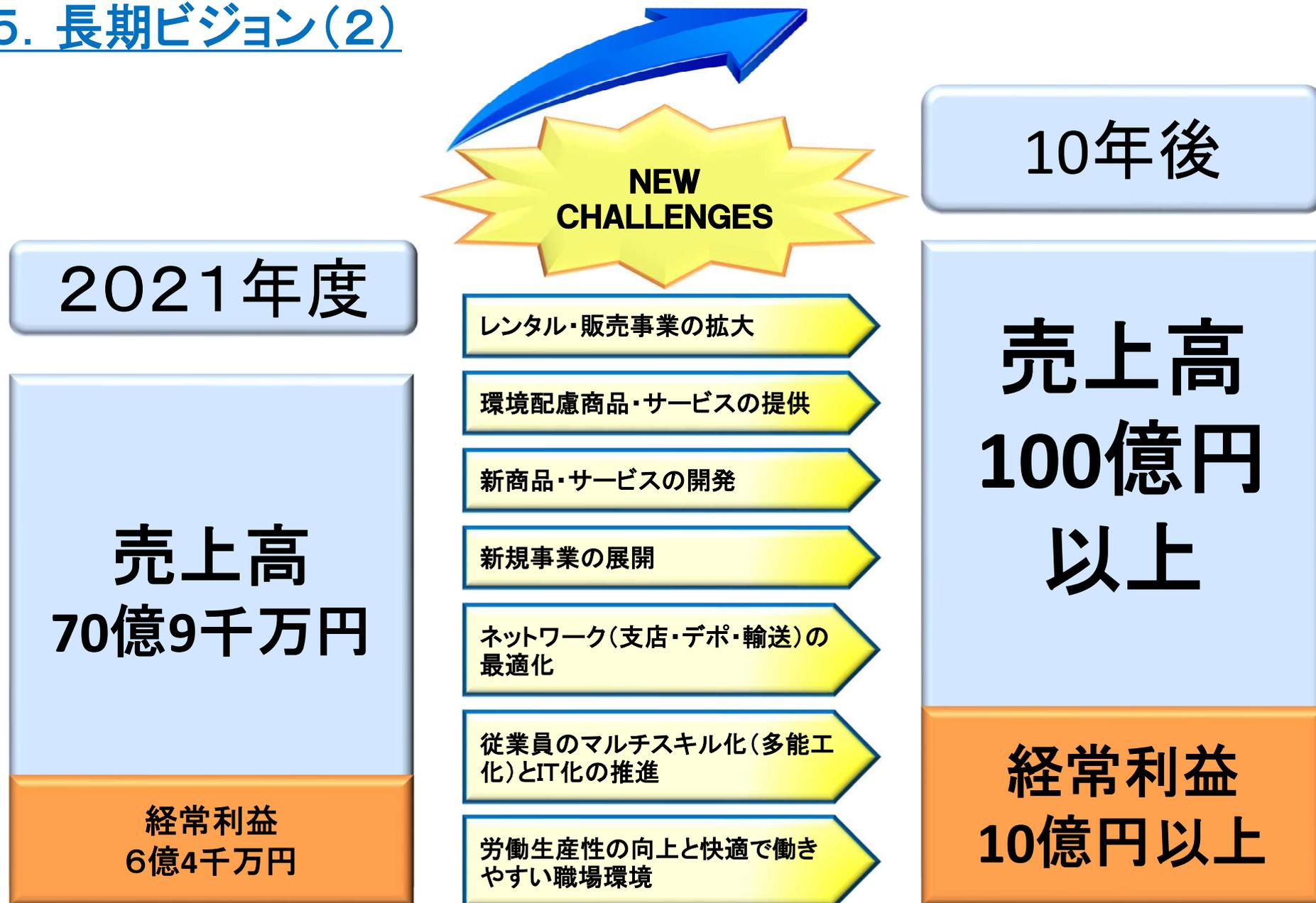
ネットワーク(支店・デポ・輸送)やパレットプールシステム等の経営基盤を強化し、お客様の満足と信頼を得ることにより、レンタル・販売事業を拡大します。

グリーン調達や環境配慮商品・サービスの提供により、環境経営を推進します。

当社の独自性を活かした新商品・サービスの開発に取り組むとともに、新たな事業に挑戦し、第2の柱を育てます。

従業員のマルチスキル化(多能工化)とIT化の推進により、更なる労働生産性の向上と快適で働きやすい職場環境を目指します。

## 5. 長期ビジョン(2)



## 6. “経営3力年計画2024”(1)

### 収益目標

単位:百万円

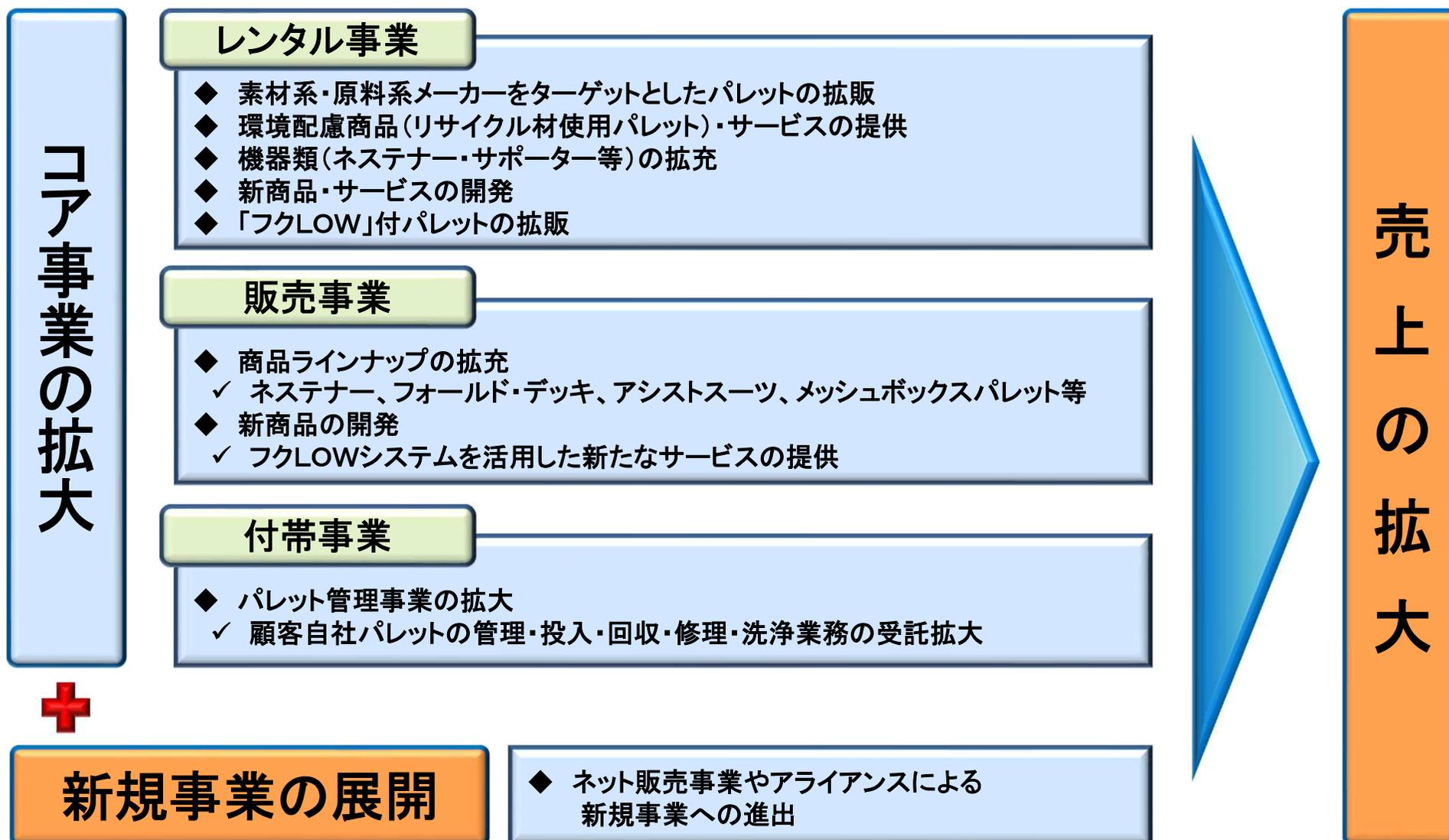
	2022年度	2023年度	2024年度
売上高	7,185	7,400	7,600
営業利益	700	720	750
経常利益	800	820	850
当期純利益	500	520	550

### KPI

ROE(自己資本当期利益率)	10%以上
EPS(1株当り純利益)	300円以上
自己資本比率	45%程度

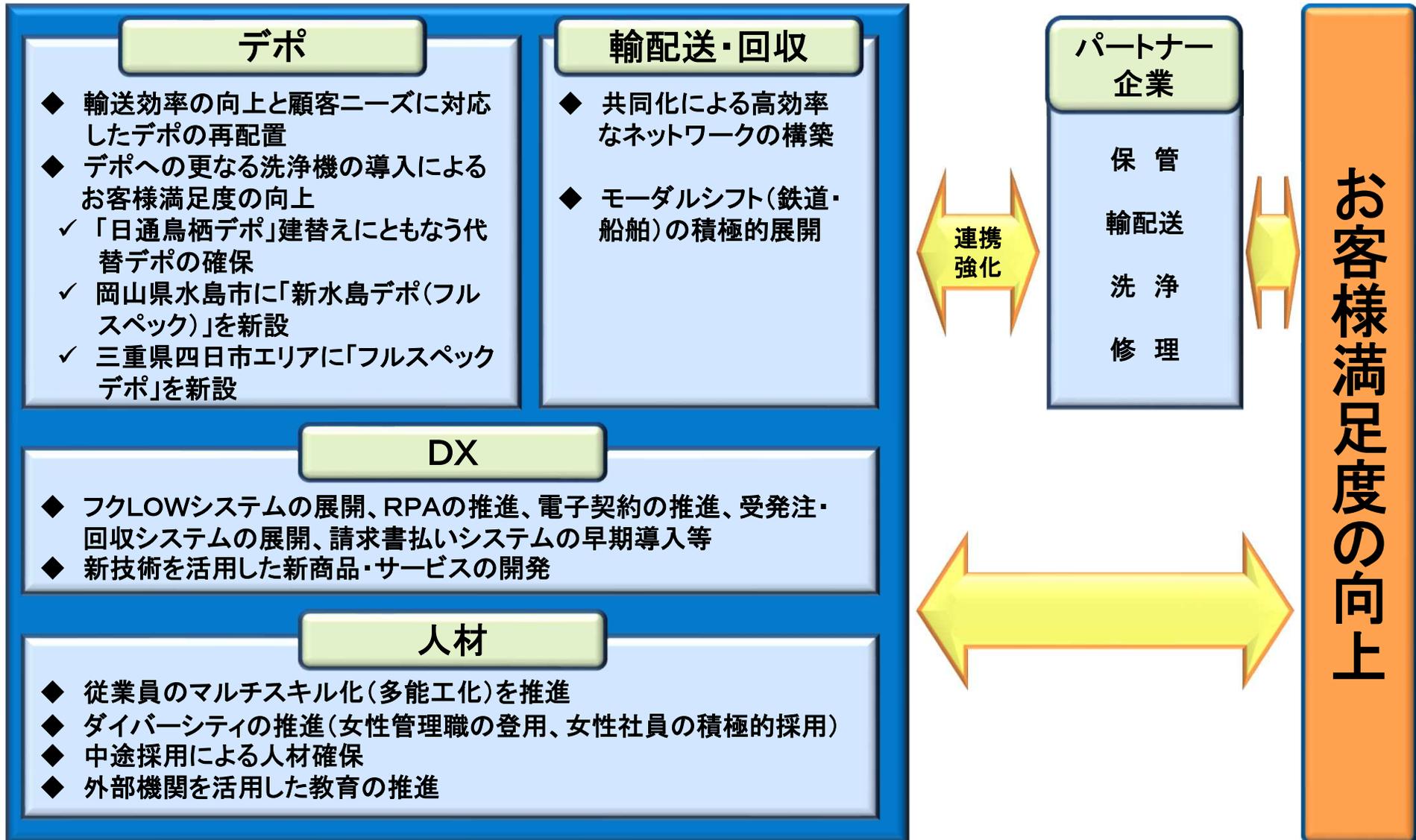
## 6. “経営3カ年計画2024” (2)

### 重点施策 I コア事業の拡大と新規事業の展開



## 6. “経営3カ年計画2024” (3)

### 重点施策Ⅱ 事業運営体制の強化



## 6. “経営3力年計画2024”(4)

### 重点施策Ⅲ ESG経営への取組み

#### 【Environment】

- ◆ CO2排出量の削減
  - ✓ 「NPPの森」育林活動
  - ✓ モーダルシフト(鉄道・船舶)の積極的展開
  - ✓ ペーパーレス化
- ◆ 廃パレットの完全リサイクル継続

#### 【Social】

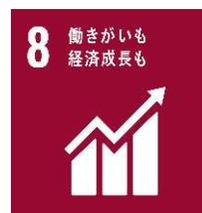
- ◆ 社会貢献の推進(オレンジリボン運動、ベルマーク運動、小児ワクチン購入支援活動)
- ◆ withコロナを意識した働き方の改革(テレワーク、時差出勤等)



## ESG経営

#### 【Governance】

- ◆ 東証スタンダード市場への移行にともなうコーポレートガバナンスの水準向上
- ◆ 内部統制監査機能の更なる強化
- ◆ コンプライアンスの強化



本資料にて開示されているデータや将来予測は、本資料の発表日現在の判断や入手している情報に基づくもので、既知及び未知のリスクや不確実性及びその他の要素を内包しており、これらの目標や予想の達成、及び将来の業績を保証するものではありません。こうしたリスク、不確実性及びその他の要素には、当社の最新の有価証券報告書、四半期報告書等の記載も含まれ、当社は、将来に関する記述のアップデートや修正を公表する義務を一切負うものではありません。従いまして、本情報及び資料の利用は、他の方法により入手された情報とも照合確認し、利用者の判断によって行なって下さいますようお願いいたします。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。